

# 正月の日光を彩った

## 学生氷上競技選手権大会終わる

日光での開催が連続八年、通算で十五回目の「第五十二回日本学生氷上競技選手権大会」が、一月八日から十一日までの四日間、予選を通過した五十八校、九百二十五人の選手、役員が参加して開かれました。

競技に先立ち、八日午前十時から総合会館で開かれた開会式には、各学校の校旗を先頭に選手が整列、名誉大会長の星野市長が「学生諸君は、本大会の発展と母校の栄誉のため、正々堂々と技を競っていただきたい」と歓迎のあいさつを行ない、このあと、明大の神山修主将（日光高出身）が力強く選手宣誓を行いました。

日光での開催が連続八年、通算で十五回目の「第五十二回日本学生氷上競技選手権大会」が、一月八日から十一日までの四日間、予選を通過した五十八校、九百二十五人の選手、役員が参加して開かれました。

体育大学。フィギュア競技は、男子一部が法政大学、同二部が独協大学、女子一部が日本大学、同二部が日本体育大学。ホッケー競技では、法政大学が九年連続優勝。日光スケートセンターで行われたスピード競技では、十の大会新ふれた大会でした。

## 市役所に立看板を設置

市役所の立看板が十二月二十二日完成し、福祉事務所前に建てられました。

### 完成した立看板

が書かれています。高さ五・四メートル、横〇・六メートルの立看板は、外来客にも市役所がすぐわかるため、大変便利になりました。

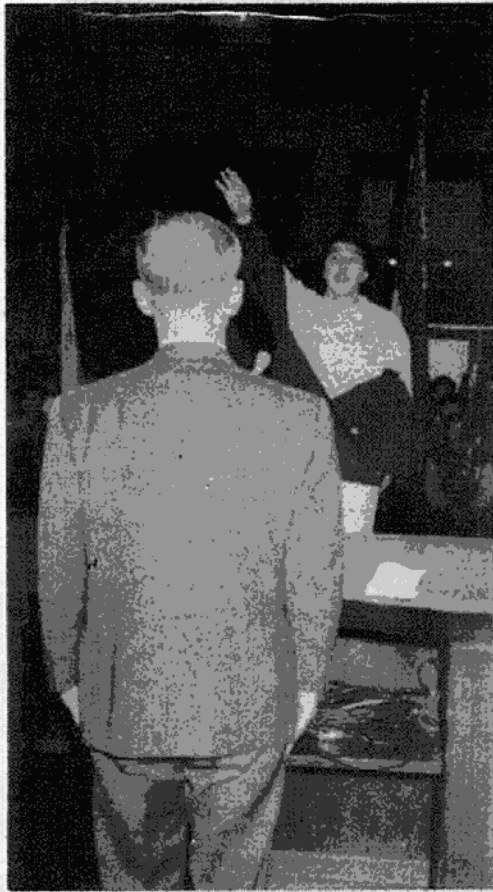
第三十二回日光市成人式が、一月十五日、総合会館で盛大に行なわれました。

## 成人式

### 誓いも新たに会場を出る成人者



この日成人として祝福されたのは、男子百五十七人、女子百六十四人、計三百二十一人でした。式は、星野市長のあいさつ、来賓からの祝いのことばや関係団体からの記念品の贈呈、日光中学校プラスバンドのお祝いの演奏などがあり、成人者たちは、市民憲章の掲げられた式場で成人の誓いをかわしました。



開会式での選手宣誓



完成した立看板

を求めているから、助けてつかわそう」と右手を高くかかげ、手にした青と赤の二匹の蛇を投げてよこした。二匹の蛇は、両岸からからみ合い、橋となったが、ウロコが光っていて気味が悪く、渡れないでいると、蛇の背中に山菅が生えて、小道ができた。一行は喜んでこの橋を渡り、ふり返ると、山菅の橋は、二匹の蛇となつて、大王の手にもどり、やがて大王は雲の中に消え失せた。